



シリーズ病診連携

みんなの健康づくり

～食事・治療・歯・薬を考える～

教えて！ 健康のコツ

小笠薬剤師会 その7
(☎22-7120)



「私のかかりつけ手帳」を持ちましょう

（治療のときに役立つ）

私のかかりつけ手帳

すでに、広報紙などを通じてお知らせしている「私のかかりつけ手帳」。この手帳は、患者さんの診療記録やお薬の情報などが記入され、より適切な治療に役立ちます。もう一度、利用目的を理解していただき、ご自身の病気とよりうまく付きあっていくため、積極的にご利用ください。

こんなときに役立ちます

みなさんは病気になるたとき、どんな経験はありましたか。

子どもが小児科に通院して風邪薬をもらっているが、急

に耳が痛くなって耳鼻科にかかり、ほかの病院でどんな薬を処方されているのか聞かれた。

内科に糖尿病と高血圧で通院し、定期的に検査を受けている。一週間前に血液検査を受けたばかりなのに、血尿が出たので泌尿器科に行って同じ検査を受けることになった。内科での検査結果を先に見てもらえばよかった。

心臓病で入院していたが、退院してかかりつけ医に戻るため、入院中の薬や病名、検査結果が表示された紹介状を書いてもらった。ほかに地元の眼科と歯科、皮膚科にかかるので簡単な病態がわかるものがあればうれしい。

2か所以上の医療機関、薬局にかかって治療を受けるとき、病名、検査データ、薬の名前がわかっていればよりスムーズに、よ

り安全に病気の治療を受けることができます。プライバシーの問題もありますが、かかりつけ医にさまざまなアドバイスをもらうとき、豊富な情報を持っていた方が安心、安全であると考えられます。

一人一冊手帳を持ちましょう

「私のかかりつけ手帳」は、医療機関、薬局で配布されています。みなさんの診療記録を基に、より適切な処置ができ、二重の検査を減らすほか、薬の飲み合わせや副作用のチェックもできます。お医者さんが変わっても、お気軽に提示してください。

